

STEP BY STEP

袴田事件の決定日は3月13日！

2月6日、日比谷公園にボクサーが大集結しました。袴田巖さんを支援するボクシング協会の呼びかけに応じた現役&元チャンピオンが約50人。東京高裁前でアピール活動をするためです。

袴田さんは2014年に再審開始決定が出て釈放され、姉の秀子さんと浜松市で静かに暮らしていますが、身分は死刑囚のまま。2020年に最高裁が審理を東京高裁に差し戻し、再審開始の判断が待たれていました。ボクサーたちが高裁前に移動する直前に、再審開始の可否は3月13日14時に東京高裁から弁護団に通知されることが伝えられました。高裁前に移動したボクサーたちはチャンピオンベルトを肩にかけ、それぞれマイクを握って、大先輩である袴田さんの無実を訴えました。

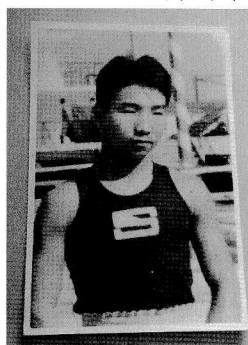
ボクサーに混じって、リングアナウンサーの須藤尚紀さんもマイクを握りました。「青コーナー」とコールする、黒服&蝶ネクタイの男性です。「自慢にはなりませんが、私は比較的、よく間違えるアナウンサーです。30年近くやってこれたのも、間違えたらすぐに訂正することを心掛けてきたからだと思います。袴田さんは無実です。間違えに気づいたら、一刻も早く判決を訂正しなくてははいけません」という言葉が印象的でした。

3月13日（月）差し戻し即時抗告審の決定後、弁護団が日弁連クレオホール（霞ヶ関）で報告会を行う予定です。現在、裁判所の判断を待っている事件がいくつもあります。分厚い再審の壁に袴田さんがカウンターパンチを入れ、風穴を開けてくれることを願うばかりです。引き続きご注目ください。（なっし聡）

※袴田巖さんを支援する9団体が3月13日までの毎週月曜日12-13時、東京高裁前宣伝を行います。お時間のある方はご参加ください。主催）袴田巖さんの再審無罪を求める実行委員会



高裁前でアピールするボクシング関係者たち
ずらりと並んだチャンピオンベルトが壮観！



国体にも出場した
若き日の袴田さん



袴田さんの近影

『国民的再審請求』 菊池事件の現在地』 事務局/野島 美香

去年は菊池事件の Fさんが再審請求棄却の翌日に、だまし討ちのように処刑されて60年という節目の年。追悼の秋桜忌が12月に熊本で行われた。2020年2月26日の菊池国賠での熊本地裁判決で、損害賠償請求は棄却されたが「特別法廷は違憲」との司法判断が下された。それでもなお検察が再審請求をしなかったために同年11月13日に1205名の市民が「国民的再審請求」を行った。（それまでの経緯を知りたい方はsayamax50@gmail.comまで問い合わせてください。）

国民的再審請求とは、本来再審請求権者の筆頭にある検察が、憲法違反の判断があってもなおその職責を果たさないのであれば、主権者である国民がそれを是正させるべく再審請求を行うものである。再審法には規定のない請求権者が、請願権を行使することで法律の不備を問う意義もある。

60周年の秋桜忌は、Fさんの人となり伝える詩や俳句も多く紹介されて、聞く者の心を打った。その中の一句を紹介する。

== 風つる 獄の夕窓 ひたすらに 巢をいとなめる 蜘蛛は殺さず ==

実は弁護団から重大発表があった。2021年4月、ご遺族が再審請求を行ったことが報告された。ハンセン病差別は家族にまで及び、とうてい不可能と思われていたご遺族の、完全匿名での請求である。その覚悟を思うと、いっそう身の引き締まる思いである。今後は国民的再審請求と並行して進めるとのこと。

秋桜忌での目的のひとつに、再審請求の主体となる国民的再審請求人団結成があった。これは民事で言うところの原告団に当たる。もちろん三者協議には参加できないが、弁護団主体で

行っている運動を担っていくことになる。請求人に圧倒的に不利な再審請求審の非公開原則を問うものともいえる。

菊池事件はその根底に「無らい県運動」という国家の熾烈な差別思想があった。1審では隔離法廷で裁判官も検察官も防護服を着て、証拠物は火箸で扱い、弁護士は弁護することを放棄した。そしてFさんに下された死刑判決。こんな稚拙な裁判を70年経っても糾せないでいるのだ。それはかつて差別を見過ごしてきた私たち市民の責任も問われている。世界で最も優れた憲法を持ちながら、最も遅れた再審法しかないこの国の社会正義実現のために、菊池事件の雪冤は果たさねばならない。

桜井さんが第37回（2022年度）「東京弁護士会人権賞」を受賞 事務局/中澤宏

人権活動に尽力されてきた方々を表彰するために、1986年に制定した「東京弁護士会人権賞」の第37回表彰式が1月11日に日本弁護士会館クレオで行われた。

授賞理由は、①「冤罪犠牲者の会」創立者である桜井昌司さんが、再審無罪を勝ち取ったのちも冤罪原因の究明と責任を問うべく検察（国）と警察（県）を相手取って国家賠償請求訴訟を提起し勝訴したこと。②「冤罪犠牲者の会」を立ち上げて冤罪事件相互の情報交換や支援を通じて連帯しながら冤罪をなくすための運動をしていること。③さらには、「再審法改正をめざす市民の会」共同代表を務め、衆参両議員の法務委員会における参考人や、日弁連や各弁護士会における諸企画の報告者としての発言、書籍の出版や映画、コンサート活動などを通じ、冤罪被害の実態を広く世の中に伝える活動をしていること。などがあげられている。今回は桜井さんと並んで「LGBT法連合会」が表彰された。

今回の受賞について桜井さんは「弁護団や支援者、全国の冤罪被害と闘っている人たちのおかげだ」と述べ、感謝の集いを4月8日に開催する予定。



受賞後にスピーチする桜井昌司さん

青木恵子さんと西山美香さんが第10回守屋賞受賞！（事務局/なつし聡）



受賞後の西山美香さん（左から2人目）
と青木恵子さん（左から3人目）

＜お知らせ＞

●冤罪犠牲者救済と再審法改正に力 ～桜井さんの「オレの記念日」自主上映を～

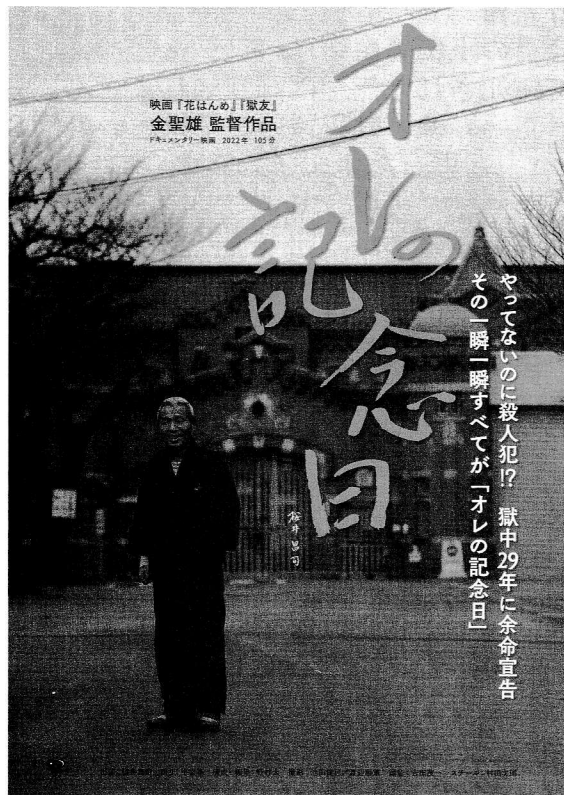
冤罪をなくすために、末期がんを抱えながらポジティブに活動する布川事件・桜井昌司さん（冤罪犠牲者の会事務局次長）の生き方を描いたドキュメンタリー映画「オレの記念日」は、昨年ポレポレ東中野（東京）を皮切りに公開が始まったが、それに先駆けて8月には埼玉県で、9月には北海道の6か所で、茨城県では9月から11月にかけて9か所で救援会を

主体にした「自主上映」が取り組まれ、大きな反響を呼んだ。

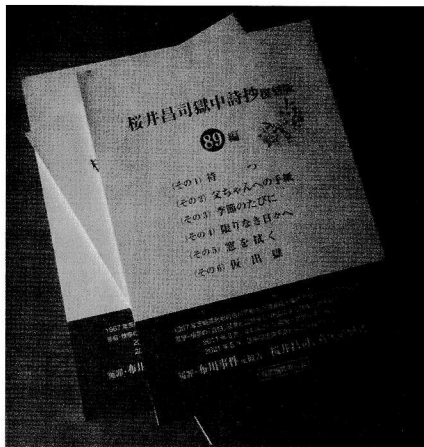
その後、京都、大阪、兵庫、静岡、神奈川、愛知、長野、三重、福岡などで一般上映が続けられているが、上映地域や映画館が限られているため、冤罪事件や再審法改正に関心を持つ人々がみられる機会が少ない。映画「オレの記念日」を日本全国の地域で上映できれば、「冤罪犠牲者を救いたい」「再審法を改正しなければ」という声を広げる大きな力となる。冤罪犠牲者の会員の皆さんが中心となり、様々な人権・民主団体や個人を結集して実行員会を立ち上げて各地域での自主上映会を企画されることを呼び掛けます。

自主上映会や、各地での上映スケジュールについてのお問い合わせは、キムーン・フィルム【☎042-316-5567】まで。

※「オレの記念日」は2月8日、高円寺ドキュメンタリーフェスティバルのコンペ部門で大賞を獲得しました！！



■今月もおススメ■

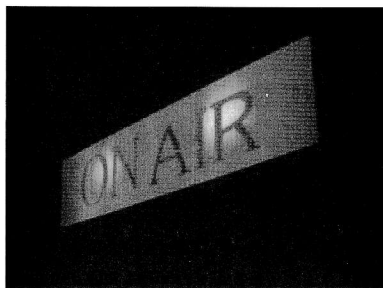


桜井昌司さんが獄中でしたための詩を収めた『壁のうた』は残念ながら在庫切れとなってしまいました。しかし、この詩集を読みたい！ という方が後を絶たず。そこで、89編を選んだ『桜井昌司獄中詩抄』復刻版が発売されました！

気になるお値段ですが、1冊のみの発送はしていませんが、1冊なら送料込み1000円。2～9冊の場合は1冊700円（発送費込）。10冊以上ご注文の場合は、1冊500円プラス発送費1000円です。

お申し込み方法はメールの場合は、info@enzai.orgまで。お電話の場合は、090-6474-4705（中澤）へ宜しくお願い致します。

■冤罪ラジオ番組「塀の中の白い花～ほんとに何もやってません」が好評放送中！■



冤罪が誰にも身も起こりうる身近な問題であることをお伝えする日本で唯一の冤罪ラジオ番組『塀の中の白い花～ほんとに何もやってません』（FMたちかわ/84.4MHz/第1・3・5月曜日 23:30）が好評放送中！

ポッドキャスト（過去放送分のアーカイブ）はネットがあればPCでもスマホでも、いつでもお好きなときに無料で聴くことができます。http://enzaibusters.seesaa.net

検索は「seesaa 塀の中の白い花」で。

※そして、この番組を取り上げたドキュメンタリー「OPEN SECRETS～日本の人質違法」が昨年、ヨーロッパで上映され、「カンヌ・コーポレート・メディア&テレビ・アワード2022」の政治問題ドキュメンタリー部門の最高賞、金イルカ賞を受賞しました！是非、ご覧下さい。

<https://youtu.be/Y0svEMQ0zSQ>



■訃報■

会員の上田美由紀さんが、1月14日広島拘置所で亡くなりました。まだ49歳、無実を訴え続けて獄死された無念は計り知れません。彼女も他の冤罪犠牲者と同じように、世間で伝えられる「毒婦」像とは程遠い、子供思いの優しい方でした。ご冥福をお祈りします。やっぱりそうか……、と思ったニュースです。

■ちょっと一言■

今、ある動画が話題らしい。8年前にニュージーランドで同性婚を認める法案が可決される際に、モーリス・ウィリアムソン議員（当時）がスピーチした動画です。「今、私たちがやろうとしていることは、『愛し合う2人の人が結婚できるようにしよう』ただそれだけです。外国に核戦争をしかけるわけでも、農作物を一掃するウイルスをばら撒こうとしているわけでもありません」そして「今ここで、この法案に反対する人たちに約束いたします。明日も太陽は昇ります。あなたの10代の娘は変わらず反抗してくるでしょう。布団からカエルが出てきたりもしません。明日も世界はいつものように回り続けます。だから大騒ぎするのはやめましょう」と続けます。見事なスピーチです。教育勅語を礼賛する自民党では同性婚に根強い反対が渦巻いています。岸田首相は「国のあり方が変わってしまう」と述べました。国会の議決を経ずに、42兆円の防衛費増額を決めた人に言われたくはありません。

同性婚も給食費無償化も死刑廃止も人権の問題です。冤罪も人権を踏みにじる大問題です。G7までに慌ててやるのではなく、じっくり議論して取り組んでもらいたいものです。この際、「道徳」なんて科目はなくして「人権」にしたらどうでしょう。

■冤罪犠牲者の会は大会の主旨に賛同していただける仲間を集めています！ ■

「冤罪犠牲者の会」が結成されたのが2019年3月2日。お陰様で少しずつ会員が増え、現在、200名を超えました。冤罪に巻き込まれてしまい、闘っている人、再審を目指している人、無罪を勝ち取った人が約50名、獄中で無実を叫んでいる人が約20名、近親者・支援者が約130名で構成されています。冤罪撲滅に力を貸してくださる方を募集中です。冤罪に関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃったら是非、声をかけてあげてください。

年会費：個人会員（正会員）2000円 賛助会員1口1000円

「冤罪犠牲者の会」の口座

◎現金払込・ゆうちょ間送金の場合

記号番号 00150-7-515181

口座名称 冤罪犠牲者の会

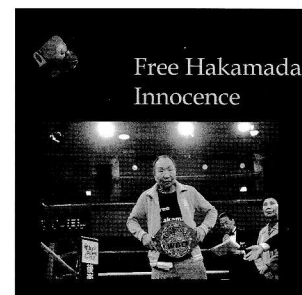
◎他行からの送金の場合

金融機関 ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

支店 〇一八 店（ゼロイチハチ店）店番 018

預金種目 普通 口座番号 9884160

口座名義 エンザイギセイシヤノカイ



■CD「Free Hakamada」発売中！

Amazonや全国のCDショップでご注文できます。売上は冤罪撲滅を目指す支援団体に寄付します。

◎PayPalでの振り込みは大会ホームページの「大会について」から「入会のお申込み」ページにある会費支払方法をご参照ください。

◎冤罪犠牲者の会事務局は常駐スタッフがおりません。複数の冤罪関連団体が桜井司法研究所を共有しています。お急ぎの場合は080-5182-3911（冤罪犠牲者事務局長：なつし聡）へお電話ください。個人の電話番号ですので、この点はご了承ください。

発行：冤罪犠牲者の会

〒160-0023東京都新宿区西新宿7-5-13 第3工新ビル201号室（桜井司法研究所内）

<https://enzai.org/> e-mail: info@enzai.org

発行責任者 なつし聡